



仮想マシンの削除

ここでは、次の内容について説明します。

- [vSphere UI を使用した VM の削除 \(1 ページ\)](#)
- [OpenStack からの VM の削除 \(2 ページ\)](#)

vSphere UI を使用した VM の削除

このセクションでは、vCenter から Crosswork Data Gateway VM を削除する手順について説明します。



(注) この手順によって、すべての Crosswork Data Gateway データが削除されることに注意してください。

始める前に

各 Crosswork Cloud アプリケーションのユーザガイドの「Delete Crosswork Data Gateways の削除」の項の説明に従って、Crosswork Cloud から Crosswork Data Gateway を削除したことを確認します。

ステップ 1 VMware vSphere Web クライアントにログインします。

ステップ 2 [ナビゲータ (Navigator)] ペインで、削除するアプリケーション VM を右クリックし、[電源 (Power)] > [電源オフ (Power Off)] を選択します。

ステップ 3 VM の電源がオフになったら、もう一度 VM を右クリックし、[ディスクから削除 (Delete from Disk)] を選択します。

VM が削除されます。

OpenStack からの VM の削除

OpenStack UI を使用して、OpenStack から Crosswork Data Gateway サービスを削除する手順に従います。



- (注) この手順により、Crosswork Data Gateway VM データが削除されます。Crosswork Data Gateway VM は、削除すると復元できません。

始める前に

『Cisco Crosswork Cloud User Guide』の「Crosswork Data Gateways の削除」の項の説明に従って、Crosswork Cloud から Crosswork Data Gateway を削除したことを確認します。

ステップ 1 OpenStack の UI から実行する場合

- OpenStack の UI にログインします。
- [コンピューティング (Compute)] > [インスタンス (Instances)] に移動します。
- このページに表示される VM のリストから、削除する VM を選択します。
- [インスタンスの削除 (Delete Instances)] をクリックします。
- VM を削除する際に表示される確認ウィンドウで [インスタンスの削除 (Delete Instances)] をクリックします。

または

ステップ 2 OpenStack の CLI から実行する場合

- CLI から OpenStack VM にログインします。
- 次のコマンドを実行します。

```
openstack server delete CDG_VM_name
```

次に例を示します。

```
openstack server delete cdg-ospdl
```
- (オプション) すべての VM のリストを表示して、VM が削除されたことを確認します。

```
openstack server list
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。